

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会 派 名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	障がい者用「オーダーメイド自転車製作」の堀田製作所
視察・研修の 目 的	障がい者・高齢者にとって活力を与えられる自転車をオーダーメイドで作る堀田製作所の現場と社長よりその内容をお聞きし参考にする。
目 時	1月14日 15:10～17:00
視察研修の 概 要	<p>視察先：堀田製作所 東京都足立区</p> <p>一人ひとりに合わせて部品ひとつから自転車を作り、奥さんと2人でこの小さな町工場から、何らかの事情で移動困難を抱える人たちに、大きな希望を届けて来られました。障害がある人でも自転車に乗れることを知ってほしいという思いで、この30年間1900台を超えるオーダーメイド自転車を作って来られた職人です。</p> <p>訪問した時は、ご夫婦でオーダーに来られて、奥様が自転車に試験的に乗っていました。なかなか身体に合わないようで、社長にいろいろと注文を話して帰ってゆきました。</p> <p>その後は、障がいのある女子高生がお爺ちゃんお祖母ちゃんと、来られました。今まで乗っていた自転車が身体に合わなくなり、新たにオーダーしていた自転車ができたので、取りに来られたのです。私も直接その女子高生にお話を聞くことができました。今までの自転車で学校にも通い、いろいろな思いがあり、愛着があるそうです。それで結局その自転車も下取りせず、自宅に持ち帰ることになり大変喜んでいるのが印象的でした。家族みんなが堀田社長さんに感謝しておりました。</p> <p>その後、社長さんにお話しをお聞きしました。月に5台くらい作成するそうですが、お客さんが喜んでくれことに嬉しくて、感動してここまでやってこれたそうです。今まで、足立ブランドとして認定されたり、テレビ報道されたり、各文化賞も受けられております。社長の「乗れない人が文化をつくった」という言葉が印象的でした。私は砂川市にあるオアシスパーク（遊水地）での貸自転車のお話しもさせていただきそこにこういう自転車があれば障がい者のかたも乗れるかもしれないですねと。社長さんも人に合わすという事は難しいかもしれないが、基本的な障がい者用の自転車を作成してそこに置くことはできそうですねと話していただきました。私は何か希望が持てそうだと思い感動して堀田製作所をあとにしました。</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	地方議員研究会 基礎講座第1 議員の専門性・キャリアプランニング
視察・研修の 目的	地方議員の専門性の向上について、これまでのキャリアを生かした専門性の作り方、発信の仕方などを学ぶ。
目 時	1月15日 10:00～12:30
視察研修の 概 要	<p>研修先：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 講師：永田 潤子 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授</p> <p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員の専門性について～特定の政策分野に関する高い専門的知見を有しているという意味の他、地域の政策課題を的確に把握し、必要な情報収集を行いながら、議会における政策提言、立案など ・議会の機能・役割～①団体意思決定機能 <ul style="list-style-type: none"> ②監視機能 ③政策形成機能 ・団体意思決定機能（小規模団体）～議員と住民との距離が近く、議員と住民との結びつきが比較的強い。意思決定に当たっては、それぞれの議員が、地域の利害や身近な住民意見等の把握に努め、議会において審議し、意見集約していくなど、議員個人の重要性が高い ・専門性をコンピテンシー（能力、適性、姿勢、素質など）で整理する～ <ul style="list-style-type: none"> ①プロフェッショナルな議員とは何か <ul style="list-style-type: none"> 「資格を持っている人」「特定のスキルを持っている人」「仕事に対する真摯な態度や姿勢」 ②必要な成果や業績をあげている人 ・キャリアに対する捉え方 <ul style="list-style-type: none"> ①（人生、国家などの）道程、一生の行路、生涯：履歴、経歴 ②一生の仕事、生涯にわたる職業 ③（職業での）成功、出世 ④道、コース：急速な進行、進展

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	地方議員研究会 基礎講座第2 行政サービスの効果や有効性の分析
視察・研修の 目的	多くの自治体で実施されている行政評価のメリット、デメリットを整理し、そのデメリットを克服するための事業分析手法などを学ぶ。
目 時	1月15日 14:00～16:30
視察研修の 概 要	<p>研修先：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 講師：永田 潤子 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授</p> <p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政評価の機能～①内部評価・管理ツール 資源配分、予算削減 ②職員の意識改革ツール ③住民とのコミュニケーションツール 住民参画 <p>・行政評価の目的～局経営方針の取り組みについて、自己評価と市内部での横断的な二次評価および行政評価委員会での外部評価を行うことにより、その評価結果を戦略・具体的取組や局経営方針の見直しに活用するとともに、予算編成や施策の選択と集中など市政運営に反映する。</p> <p>・問題の構造化～多くの市職員が、広聴の現状には問題があると考えている。市民と接する機会が殆どなく、市民の声がなかなか現場に届かない。もっと市民の声を聞きたい。市民からの苦情・要望等に対する対応が遅い。市民の声を聞く窓口とそれを公開する窓口が必要。市民の評価を受ければ改善されることも多い。</p> <p>市民をたらい回しにするような対応が多いのが問題。市民対応に対する研修・マニュアル化を実施するなど、簡潔にわかりやすく対応することが必要。</p> <p>市民からの問い合わせや苦情の件数・内容を整理し、回答をマニュアル化することが必要。市民の意見・要望を上司に報告しても、その上司個人の判断で否定され、組織全体で検証されていないケースも見受けられる。しっかり検証する仕組みを設置してほしい。</p> <p>苦情・要望等の対応にかなりの時間が費やされてしまい、業務に支障が出ることも多い。市民からの苦情が少なくなるように、細かくPRをすることが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業分析手法～①事業の現状：事業の現状をデータで整理（事業内容、事業規模、予算、人員、他都市との比較） ②事業の課題：事業の目的、運営形態、効率化などの観点から事業の課題を整理。 ③仮説と方向性：改革に向け、経営形態の見直しを含めて、可能性のある選択肢を仮定し提案、シミュレーションを行う。 ④今後の取り組み：すぐにできることや今後検討する事項、スケジュールなど。

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	地方議員研究会 基礎講座第3 質問作成1000本ノック
視察・研修の 目的	実際の質問を事例として取り上げ、どうすればより良い質問になるかをそのポイントの解説と、参加者と一緒に質問を作りあげるなど実践を学ぶ。
目 時	1月16日 10:00～12:30
視察研修の 概要	<p>研修先：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 講師：永田 潤子 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授</p> <p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の目的は～①自分の知らない情報を得る。 <ul style="list-style-type: none"> ②自分の疑問を解く ③相手に気付かせる ④相手に決断を迫る ⑤相手を応援する <p>3～5が目的の良い質問に必要なもの・・・ 「事前準備」「先を読む力」「相手の答えを想定する」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の4種の神器～自分の知りたい内容を <ul style="list-style-type: none"> ①データ ②文献 ③事実 ④関係者へのインタビュー <p>といった客観的な道具を使って組み立てる。具体的な事実があると、相手は無視できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の先生より質問のテーマを示されて4～5人のグループに分かれて、ディスカッションし、与えられたテーマで質問内容を作成し、グループで発表しました。 <p>先生よりのテーマ課題：①子どもの貧困について <ul style="list-style-type: none"> ②コンパクトなまちづくりに向けた取り組みについて ③空き家対策の現状と今後の取り組みについて ④いじめ対策の取り組みについて ⑤危機管理の現状を問う ⑥子どもの教育の環境整備について </p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	地方議員研究会 基礎講座第4 まちづくりのしくみ・アプローチと実践法
視察・研修の目的	まちづくりのこれからの課題とアプローチを紹介して頂き、地域力、防災、少子・高齢化、交通など幅広い視点から学ぶ。
目 時	1月16日 14:00～16:30
視察研修の概要	<p>研修先：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター 講師：永田 潤子 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 准教授 講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりとは～地域住民が協働して、あるいは地方自治体と協力して、自らが住み、生活している場を。地域にあった住みよい魅力のあるものにしていく諸活動・・・「物、施設づくり」「暮らしづくり（観光資源・地域産業）」 「イベントづくり（祭り等）」 「人づくり（生涯学習・健康等）」 ○仕組みをつくること。 ○行政サービスは、政策、制度、人の3つで整理。 ○まちづくりは、「もの」「暮らし」「イベント（機会）」「人」の仕組みを考えること。 ○「計画」「ルール」「プロセス」「事業・制度」 ・身近な事例から考える～講師の先生より、2点の事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ①新潟県南口駅前広場の市民参画整備 <ul style="list-style-type: none"> ○100数点の中から選ばれた設計チームと行政 ○3か年に渡る市民ワークショップ開催 ○NPO「エキナン会」の誕生 ②わいわいコンテナ・芝生原っぱ広場（佐賀市） <ul style="list-style-type: none"> ○「図書館コンテナ」「交流コンテナ」「チャレンジコンテナ」 ○空き店舗の整備、飲食店の出店など ・・・狭い地域ながらも、目に見える形で実現できる。 ・住空間の改善アプローチを考える～意見集約の場としての「自治会」 <ul style="list-style-type: none"> ①第1回懇談会にて課題の確認 ②住民へのアンケート調査 ③住民と協働して実測を実施 ④アンケート結果と実測を踏まえ、第2懇談会で改善策を話し合う ○道路の夜間照明、騒音、臭気、大気汚染など実際の住民の活動に、「科学的視点を持ち込む」地域にある大学や研究所等を活用する。

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	平成29年度浄化槽トップセミナー
視察・研修の 目的	下水道財政の現状と課題、これからの浄化槽について学ぶ。
目 時	2月1日 13:30～16:30
視察研修の 概 要	<p>研修先：ホテルモントレ札幌 2F ビクトリアルーム 主催：環境省 プログラム</p> <p>13:30～13:40 開会挨拶</p> <p>13:40～14:10 講演1「下水道財政の現状と課題について」</p> <p>14:10～14:40 講演2「これからの浄化槽について」</p> <p>14:40～15:00 事例報告「農業とエネルギー基地としての顔を持つ厚真町の将来と汚水処理施設について」</p> <p>15:00～15:05 休憩</p> <p>15:05～16:15 講演3「北海道における生活排水処理の現状と今後」</p> <p>16:15～16:25 質疑応答</p> <p>16:25～16:30 閉会挨拶</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと

○政務活動（行政視察・研修）報告書

政務活動実施状況

会派名 (参加者)	公明党 (辻 勲)
視察・研修名	北大リサーチ&ビジネスパークセミナー
視察・研修の 目的	地域のものづくり産業関連企業を対象に産学官連携による研究開発や事業化。社会実現について知見を広める。
目 時	2月19日 14:00～17:00
視察研修の 概 要	<p>研修先：京王プラザホテル札幌2Fエミネンスホール 主催：北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会</p> <p>プログラム</p> <p>14:00～14:10 開会挨拶</p> <p>14:10～15:20 映画「未来シャッター」上映 「市民全員参加型で企画した異例の映画プロジェクト！」 「中小地域間連携による、(産官学金市民) 全てのご協力で製作！」</p> <p>15:20～15:30 ～休憩～</p> <p>15:30～16:30 基調講演 「下町 町工場の挑戦」 株式会社浜野製作所 代表取締役 CEO 浜野 慶一 氏</p> <p>16:30～16:40 質疑応答</p> <p>16:40～17:00 名刺交換会</p>

※視察研修の概要には、視察研修先等を含め記載のこと